

高千穂町・高千穂町旅館業組合・鉄道情報システム株式会社が 観光振興事業の実施に関する包括連携協定を締結

宮崎県高千穂町（町長：甲斐 宗之）、高千穂町旅館業組合（組合長：佐藤 雄二郎）、鉄道情報システム株式会社（代表取締役：本多 博隆）は、相互に連携・協力して、高千穂町の観光振興・地域振興・地方創生の推進を図るため、2022年8月26日に連携協定を締結しました。当社では、これを機に、これまで培った技術、知識、信頼を活かし、日本全国の地方創生に協力していきます。

1. 締結目的

高千穂町・高千穂町旅館業組合・鉄道情報システム株式会社は、互いの資源や知識、魅力を生かし、相互に連携・協力して、高千穂町の観光振興、地域振興、地方創生を図ります。宿泊や観光分野におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、データに基づく新たな戦略策定や業務効率化を進め、また、同町の宿泊施設におけるオンライン販売・地域直販強化に取り組みます。

2. 連携事項

- (1) 高千穂町の観光振興、課題解決に関すること。
- (2) 高千穂町における観光振興に関する教育、啓発、人材育成に関すること。
- (3) 高千穂町における観光DXの推進に関すること。
- (4) 高千穂町の情報発信の充実強化に関すること。

※ 具体的な連携事項については別紙参照

3. 締結日

2022年8月26日（金）

4. 有効期間

締結日から2023年3月31日までとし、解約の意思が表示されないときは、自動的に1年間延長します。

以上

別紙 具体的な連携事項

(1) 宿泊データ自動収集・分析

高千穂町の観光統計業務において、手作業で収集している宿泊データを自動的に収集できるようにし、また、データをリアルタイムに分析することで、観光地域づくりの新たな戦略策定等に活用できるようにする。

(2) 高千穂町旅館業組合ホームページ 宿泊予約機能

高千穂町旅館業組合の公式ホームページを新たに構築し、組合所属の宿泊施設がサイト限定の宿泊プランをオンライン販売できるようにする。

(3) サイトコントローラー「らく通with」※エリア導入

(1) (2) を実現するため、組合所属の宿泊施設が利用するサイトコントローラーを鉄道情報システム株式会社提供の「らく通with」に統一する。

※ 「らく通with」は、JRの「みどりの窓口」の端末で培った技術・ノウハウを活用した旅館・ホテル向けのサイトコントローラーです。旅行会社・予約サイトの予約情報や在庫・料金調整を一元管理するとともに、フロント会計システムとのデータ連動が可能のため、予約業務全体の大幅な効率化を実現できます。詳細は、「らく通with」公式サイトをご参照ください。
⇒ <https://www.raku-2.jp>



包括連携協定 締結式

(左から甲斐町長、太田取締役、佐藤組合長)

以上